

やわらかな日差しに、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。まだ寒い日もありますが、子どもたちは元気いっぱい学校生活を送っています。朝の運動や日々の学習活動にも意欲的に取り組み、校内には明るい声が響いています。

2月は、小学部・中学部での「送る会」、高等部では卒業式に向けた練習が始まるなど、進級や卒業を見据えた大切な時期です。年度末は慌ただしく過ぎていきますが、子どもたち一人一人の成長を振り返りながら、充実したまとめの時間となるよう丁寧に支援してまいります。

日頃より地域の皆さまに温かく見守っていただいていることに、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 学校行事予定



令和8年3月

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 3 (火) 高等部卒業式予行                 | 17 (火) 幼小新転入生連絡会 (~19)<br>給食終了 |
| 4 (水) 高等部卒業式                   | 19 (木) 修了式                     |
| 6 (金) 高等部再募集入学者選考              | 23 (月) 春季休業開始                  |
| 10 (火) 小・中学部卒業式<br>高等部再募集合格者発表 |                                |
| 13 (金) 高等部入学説明会                | ★行事等の関係で下校時刻が変則的になります。         |

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校HPにてお知らせします。

いなみ野特別支援学校 HP

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QRコードはコチラ! ⇒



## いなみ野版コミ・スク「まなびや」・学校評議委員会

1月29日(木)に第2回いなみ野版コミ・スク「まなびや」及び学校評議委員会を開催しました。コミ・スクでは、各学部長より教育活動の現状、支援部長より地域連携、進路部長より進路状況についての説明がありました。委員の皆さまより以下のようなご意見・ご助言をいただきました。ありがとうございます。

- ・近隣の店舗が閉店していく中、小学部の買い物学習は良い経験になるので継続して実施して欲しい。
- ・明石市役所のインターンシップについて、対象は明石市在住の生徒に限られるのか。今後広がって欲しい。
- ・小学部は地域の方との交流をしているのか。小中高の学部間交流はあるのか。  
→小学部 JA 青年部の方との交流は来年度も継続する。小学部6年生が中学部の授業体験、中学部1年生が高等部1年生と、中学部2年生が高等部2年生と交流。小学部と高等部がクラス単位で交流など。
- ・例えばものを一緒に作るような経験の中で、異学年の児童・生徒が協力する姿が見れたらいいなと思った。

紙面の関係で全てを掲載できていませんが、いただいたご意見は職員で共有させていただき、今後の教育活動に活かしてまいります。

ご参加いただいた皆さまには心よりお礼を申し上げます。



## 高等部 卒業ライブ2025

2月2日、稲美中学校の体育館で本校高等部3年生による卒業ライブが開催されました。

この学年は1年生の時から音楽の授業でバンド演奏に取り組んできました。

自分の相棒とも言える楽器を見つける、興味のある楽器を触ってみる機会にする等、個々の興味や特性に合わせて器楽に取り組むだけでなく、バンドという4~5人の小編成で演奏を行い、自分一人で読める楽譜を用意することで、他人の音をよく聞き演奏を合わせることが生徒のみでできるようにしています。

バンドに取り組んでいる期間は自分の楽器は自分で管理することで、好きな時に演奏、合奏ができ、休み時間や放課後などにも自分たちで声を掛け合って楽しく演奏をしていました。

1年の時は学年内発表、2年は学校内発表、3年は学校外発表と年々舞台を大きくすることで音楽に苦手意識を感じていた生徒も少しずつ自信をつけて200人近くの観客を前に堂々としたライブを披露してくれました。

卒業すれば音楽の授業は終わってしまいますが、ぜひ卒業後の人生に楽器や音楽が身近であることを願っています。



## 支援のタネ

知的障害のある子どもたちの中には、失敗への不安が強く、「まちがえたらどうしよう」と動きが止まってしまう子がいます。そんなときは、失敗を責めるのではなく、気づきをそっと促す声かけが大切です。たとえば、危ない行動をしたときに、長い言葉で大きく叱るのではなく、「え！」と短く伝えるだけで、はっとして自分で行動を修正できる子もいます。

大きな声で叱る方法は、一時的に止まることがあっても、叱る人がいない場面では続きにくく、心に不安や傷を残すこともあります。また、内面の育ちにつながりにくいという面もあります。子どもが「自分で気づけた」「できた」と感じられる経験を重ねることが、長い目で見た自立につながります。小さな声かけ、小さな成功体験の積み重ねを、ぜひ意識してみてください。

